

はなまつり

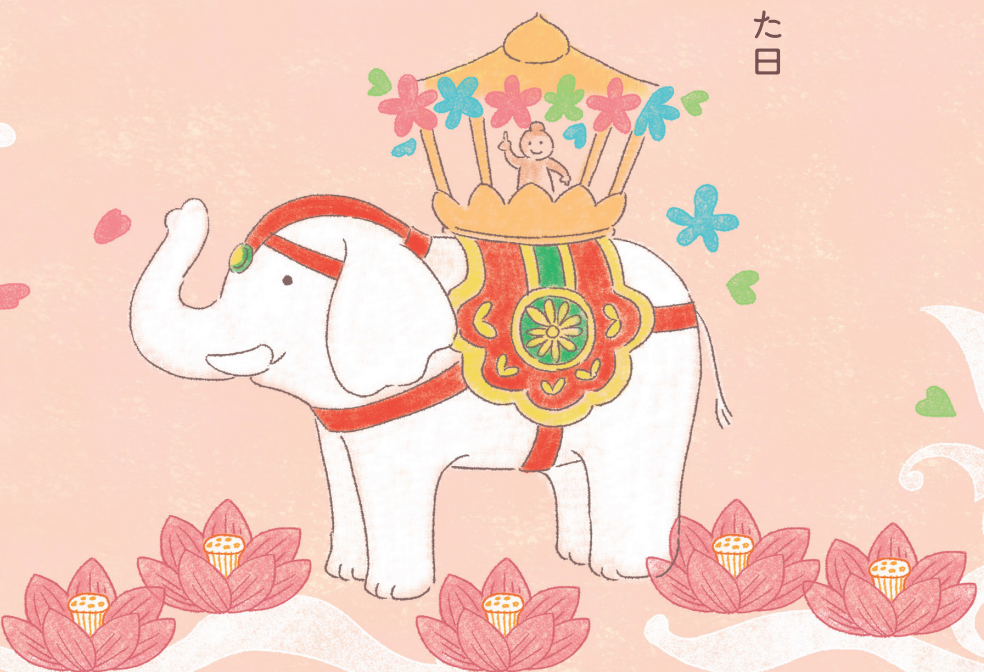
4月8日はお釈迦さまがお生まれになった日


今から約2500年前、インドの北にあるネパールの地ルンビニーの花園でお釈迦さまがお生まれになります。そこはいろいろとどりの花が咲き誇り、美しい景色を眺めながらお釈迦さまのお母さまは、一輪の花を取ろうと右手をあげました。次の瞬間、右わきからかわいい男の子が生まれました。このとき、あたまには龍によって清らかな水(甘露水)が灌がれ、お釈迦さまの誕生をお祝いしたとされています。

こうしたできごとに習い、はなまつりではお釈迦さまのお像に甘露水に見立てた甘茶をかけ、その誕生をお祝いするのです。

お釈迦さまのことば

お釈迦さまはお生まれになると、すぐに7歩あるき、右手で天を、左手で地面を指さしながら「天上天下唯我独尊」といいました。このことばは「この世界に生まれたわたしたち一人ひとり、ほかの誰かと比べることのできない大切な存在」であること、「慈しみ合うことの大切さ」をわたしたちに教えてくださっているのです。





4月8日は、
おしゃかさまの
おたんじょう日です

おしゃかさまがうまれたとき、
おそらからはあまいきよらかな、
あめがふりました。

まんなかにはいらっしゃるのが
うまれたばかりのおしゃかさまです。
おしゃかさまはうまれてすぐにたちあがって、
おそらとじめんをゆびさして
「みんなのいのち、うさぎのいのち、てんとうむしのいのち、
みんなおなじたいせつなものですよ。」といいました。

おしゃかさまのおかあさんが、
しろいぞうさんが
おかあさんのおなかのなかには
はいつてくるゆめをみました。
そしておしゃかさまを、みごもりました。